



第 60 回

神奈川県精神保健福祉大会講演会

テーマ ～神奈川県における精神保健福祉の開拓世代からのメッセージ～

～先進地の誇りを胸に、精神保健福祉の推進にさらなる力を注いで～



- ・日 時 令和6年12月5日(木) 14時10～15時30分
- ・会 場 神奈川県精神保健福祉センター視聴覚室 2F
京急・京急・市営地下鉄：「上大岡駅」より30・71・203系統バス15分「芹が谷」下車徒歩12分
JR利用： 東戸塚駅より東01・東08系統バス15分「六ッ川四丁目」下車徒歩12分
JP利用： 戸塚駅東口駅より横43・横44系統より横浜駅行きバス25分「六ッ川四丁目」
下車徒歩7分
- ・入 場 無 料
- ・定 員 70名 (お申し込みは受付順になります)
- ・講 師 聖学院大学 名誉教授 助川 征雄 氏



【申込先】

(一社)神奈川県精神保健福祉協会
横浜市港南区芹が谷 2-5-2

神奈川県精神保健福祉センター内
事務局(関)TEL:045(827)1688

FAX:045(827)1688

神奈川県における精神保健福祉の開拓世代からのメッセージ

～ 先進地の誇りを胸に、精神保健福祉の推進にさらなる力を注いでください ～

講師； 聖学院大学 総合研究所名誉教授 助川征雄(精神保健福祉士)

講演会の趣旨について

日本の精神障害者対策は、長い間、精神障害者を精神科病院へ長期おく「閉鎖施策」が中心でした。しかし、1964年～、精神障害者と地域生活支援に重点をおく「時代の転換」を迎えました。私は、それを担った「開拓世代の一員」です。本日は、それらの「精神保健福祉」を振り返り、これからの「共生社会づくり推進」に向け、「共に考えるチキれば」と願っております。



入院させての退院促進等々の道の社実践」を振

助川征雄講師の経歴(プロフィール)

(学歴) 明治学院大学大学院卒業後、民間精神科病院に勤務しながら、明治学院大学、神奈川県立大学等で精神保健福祉士養成課程の非常勤講師を兼務。その後、イギリスへ精神保健福祉研究留学(後に米国、北欧も)。所属学会は、日本精神保健福祉学会等。

(職歴) 1960年代に民間精神科病院勤務。その後、神奈川県立精神ター、保健所および神奈川県庁保健予防課で精神保健福祉業務にた、厚生労働省等の各種精神保健福祉関係委員・研究員、精神保健国家試験作成委員、杉並区精神保健福祉関係会議の専門員等を歴聖学院大学総合研究所・名誉教授。杉並区障害者地域生活支援協



衛生セン
従事。ま
健福祉士
任。現在、
議会専門

員。全国精神保健福 (旧友 G. Shepherd 博士と) 社相談員会相談役。日本精神保健福祉士協会永久会員。

(著書) ふたりぼっち (万葉舎)、新精神医学ソーシャルワーク (岩崎学術出版社)、精神障害者のリハビリテーション (医学書院)、ケアマネジメントと地域生活支援 (中央法規)、これからの精神保健福祉 (へるす出版)、保健所精神保健活動のすすめ方 (牧野出版)、心の病の相談室 (旧全家連～みんなネット)、スーパービジョンの本 (河出書房新社)、人間福祉スーパービジョン (聖学院大学出版会)、Innovation of Japanese Mental Health Services(Boss-USA)ほか。**(共訳)** C ラップ著「ストレングスモデル」(金剛出版)

(海外研究留学歴)

(1977, 1987 年) 英国留学 (ケンブリッジ大学エマニュエルカレッジ、モーズレー精神医学研究所、およびケンブリッジ州立リハビリテーション医療センターなど)

(2002, 2004, 2005, 2006, 2008, 2010, 2011, 2012, 2015, 2018, 2020 年) 米国および英国の精神保健福祉の経年調査研究 (英国司法精神医学調査も含む)。

(2009 年, 2013 年) フィンランド・スウェーデン・エストニア社会福祉調査研究。